※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 402 |
|---|---|

# 令和８年度　国語科

| 教科 | 国語科 | 科目 | 文学国語 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「文学国語」（東京書籍） | | | | | | |
| 副教材等 | 「国語便覧」（数研出版） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 近代以降の文学的文章を読みます。所謂小説だけではなく、随想や評論文に近いものも学習の対象です。多くの作品・文体に触れ、楽しみながら、語彙や作品の背景となる思想・文化への知識を深めてください。
- 読解、記述に対して、粘り強く積極的に取り組んでください。
- 進路を見据え、家庭学習の課題を継続的に課します。自分で読み、書く力を身に付けてください。

## 2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり身につけることを目指す。

ａ：生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようになる。

ｂ：生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

ｃ：言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を身につける。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。 | 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 創作を生み出す想像力に触れる<br>［教材］<br>坂口安吾『文学のふるさと』<br><br>温又柔『国語から旅立って』 | a:文学的な文章やそれに関する文章の種類（随想・評論）や特徴などについて理解を深めている。<br>b:[読]作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。<br>c:生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。 | ワークシート<br>小テスト<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>作文 |
| | 異質な価値観のぶつかり合いを読み解く<br>［教材］<br>森鷗外『舞姫』 | a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>b:[読]語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。/[書]文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。<br>c:生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。 | ワークシート<br>小テスト<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>創作文 |
| 後期 | 隠喩の機能を理解し、未知の見方を手に入れる | a:言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 | ワークシート<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>要約文 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | ［教材］<br>井伏鱒二『山椒魚』<br>安部公房『鞄』 | b:[読]他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。<br>c:学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。 | 定期考査 | | |
| | 小説が開拓した世界観を追体験する<br>［教材］<br>梶井基次郎『檸檬』 | a:言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。<br>b:設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。[書]読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。<br>c:生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。 | ワークシート<br>小テスト<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>書評 |
| | 文学作品を通して未来への思考を深める<br>［教材］<br>小野正嗣『文学の未来』 | a:文学的な文章やそれに関する文章の種類(随想・評論)や特徴などについて理解を深めている。<br>b:[読]人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。<br>c:言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。 | ワークシート<br>小テスト<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>作文 |

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　０　　）時間

・書くこと　…　（　　１５　　）時間

・読むこと　…　（　　５５　　）時間